

## 第 14 回傷害予防教育セミナー

わが国では、「不慮の事故」は、最近では、0歳を除いた小児の死因の第2位となっており、事故による傷害の予防は重要な保健活動のひとつです。WHO（世界保健機関）は、「見守り」「監視」だけでは子どもの傷害は予防できないと明言しており、効果のある傷害予防のためには環境改善や人的サポートを含めた総合的な予防が不可欠です。

海外では、データに基づいた傷害予防やその効果評価が進められ、大きな成果を上げている事例が報告されていますが、我が国では、令和5（2023）年に日本学術会議の見解でも指摘されているとおり、データに基づいた科学的なアプローチに大きな課題があります。

本会では、傷害予防を科学的に進める方法、最新の予防トピック、また最近作成された新しい予防コンテンツを紹介するセミナーを開催しております。本年も、学術集会の開催に合わせて開催いたします。2023年に日本学術会議から発出された見解「こどもの傷害を減らすためのデータ収集および利活用」や、2019年に出版された傷害予防の書籍（『保育・教育施設における事故予防の実践』（<https://www.chuohoki.co.jp/products/welfare/5854/>））の内容も活用し、実践的な予防法について考えていきます。

公益社団法人 日本小児保健協会 会長 山縣 然太郎  
同 傷害予防教育委員会 委員長 北村 光司

日 時：令和8（2026）6月19（金）14：20～16：20（第73回日本小児保健協会学術集会会期中）

会 場：大阪中央公会堂（大阪府大阪市北区中之島1丁目1番27号）

第73回日本小児保健協会学術集会会場 第2会場

開催方法：現地開催（第73回日本小児保健協会学術集会のプログラムとして開催）

※本セミナーのオンデマンド配信はございません。

主 催：公益社団法人 日本小児保健協会 傷害予防教育委員会

参加費：無料（ただし、学術集会への参加登録が必要です）

参加方法：学術集会プログラムとして開催しますので、学術集会ホームページでの「参加登録」ご登録時に、本セミナー参加希望欄に☑をしてお申し込みください。なお、学術集会に参加登録をされた方は、当日にご参加いただくことも可能です。

### 《プログラム》

14:20～14:35（15分） 傷害予防の基本的な考え方

東京都立小児総合医療センター 小児科医 岸部 峻

14:35～14:50（15分） 子どもの傷害予防と地域看護の関わり

東京科学大学工学院機械系 本田千可子

14:50～15:05（15分） 科学的な傷害予防の実践と最新教材紹介

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 北村 光司

（15分休憩）

15:20～16:20（60分） 傷害予防ワークショップ・交流会

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 大野美喜子

【本セミナーでの参考資料】 ※購入は必須ではありません。

「保育・教育施設における事故予防の実践 事故データベースを活かした環境改善」（中央法規出版）

### 【問い合わせ先】

公益社団法人 日本小児保健協会事務局

TEL：03-3868-3093 FAX：03-3868-3092 URL：<http://www.jschild.or.jp/>

研修会に関する問い合わせ E-mail：[jschseminar-tantou@umin.ac.jp](mailto:jschseminar-tantou@umin.ac.jp)